

## (仮称)南平台プロジェクト本格始動 ～広域渋谷圏No. 1ポジション確立に向けて～

東急不動産株式会社(本社:東京都港区、社長:植村仁)は、当社が入居していた新南平台東急ビルなど4棟を地権者と共同して一体的に建替えるプロジェクト「(仮称)南平台プロジェクト」が、本格始動したことをお知らせいたします。

本プロジェクトは、渋谷エリアでは希少な大規模オフィスビルであり、低層部にはインキュベートオフィス等の“産業支援施設”を設けることで、渋谷発のビジネス・企業を育成し、渋谷のクリエイティブ・コンテンツ産業の更なる充実を図ってまいります。また外装デザインは、渋谷の玄関口に相応しい品格と渋谷らしい賑わいのある表情を兼ね備えたファサードといたします。



### ◆ オフィスワーカーに快適な空間を提供

当社はこれまで、東急不動産のオフィスビル事業のコンセプト“building smiles～はたらく人を笑顔に～”を具現化した、新目黒東急ビルや、新青山東急ビルなど、オフィスワーカーの目線に立ったオフィスビル創りを行ってまいりました。

このプロジェクトでも、3階から20階にかけての各階に、テナント専用のテラスを設置するほか、21階には屋上空間を活用したラウンジや庭園を設けることで、オフィスワーカーにとって快適な空間を提供するなど、当社がこれまで手がけてきたオフィス開発で培ったノウハウを活かした開発計画となっています。

またエントランス前の緑豊かな広場には、カフェを設けることで、街のにぎわいにも寄与する計画としております。



## ❁ 環境配慮・防災対策

屋上空間を活かした緑化やダブルスキンおよびLow-e複層ガラスを採用するなど、環境配慮型のオフィスとなっています。また、太陽光発電パネルの設置や雨水利用など、自然エネルギーの利用にも配慮しております。

その他、非常用発電機の設置や上水の備蓄等による館内のBCP対策はもとより、防災井戸およびマンホールトイレを設置し、帰宅困難者の支援も行います。エントランスホール等では帰宅困難者の受入も行う予定です。

## ❁ 東急不動産の広域渋谷圏No. 1ポジション確立に向けて

現在、東急不動産では渋谷駅周辺の再開発事業のうち、道玄坂一丁目駅前地区市街地再開発と渋谷駅桜丘口地区再開発に、地権者および事業協力者という立場で参画しています。

東急プラザ渋谷と隣接する街区とを一体的に整備する「道玄坂一丁目駅前地区」は2018年度の、桜丘地区後背地の丘陵地と渋谷駅のバリアフリーアクセスを構築する「渋谷駅桜丘口地区」は2020年の竣工を目指し、事業を推進しています。

また、駅周辺の機能整備に併せ、周辺エリアでの開発案件や関与資産などを通じ、「面」での街づくりを意識しています。今後も様々な案件に取り組み、2020年までに賃貸面積を倍増させ、広域渋谷圏No. 1ポジションを確立してまいります。



## 【プロジェクト概要】

- 敷地面積 : 4, 128. 33㎡
- 延床面積 : 約46, 954㎡
- 階数 : 地上21階・地下1階
- 最高高さ : 約108m
- 構造 : 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造
- 用途 : 事務所・集会場(インキュベートオフィス等)・駐車場
- 事業主 : 一般社団法人道玄坂121(当社および地権者で組成した事業会社)
- プロシキマネージャー : 東急不動産株式会社
- 設計 : 清水建設・東急設計コンサルタント設計共同企業体
- 設計監修 : 株式会社日建設計
- 施工 : 清水建設株式会社
- 竣工 : 2019年3月(予定)

## 【プロジェクト位置図】

